

## 平成27年度「しがこども体験活動実践交流会」

子どもの体験活動に関わる機関・団体等を対象に、事例発表や意見交換等とおしてネットワークを構築し、子どもたちの体験活動の充実や活性化を図るとともに、各機関・団体の連携を推進することを目的として実践交流会を実施しました。

### 【日時】

平成28年2月5日（金）13：20～16：30

### 【会場】

滋賀県庁東館7階大会議室

### 【対象】

しがこども体験学校登録団体関係者

社会福祉協議会、ボランティアセンター職員等

通学合宿を実施している支援・協力者

地域のまちづくり等を推進している個人・団体

子どもの体験活動を実施している県内学生団体

行政関係者（市町教育委員会、公民館・コミュニティセンター職員）等



### 【参加者】

72名

### 【開催日程・内容】

日程	内容
13：00	受付
13：20	開会行事 開会あいさつ、日程説明
13：30	事例発表 ①「通学合宿」の取組 発表者 あかね通学合宿実行委員会 事務局長 綾 康典 氏 ②「しがこども体験学校」登録団体の取組 発表者 滋賀県山岳連盟 事務局長 藤堂 保 氏
14：20	こども体験活動アピールタイム ※関係機関・団体からの情報発信
15：10	休憩
15：20	グループ討議 ・アイスブレイクをとおして交流 ・グループに分かれて討議・情報交換 ・3グループの発表
16：20	閉会

2月5日（金）、県庁東館7階大会議室において、平成27年度「しがこども体験活動実践交流会」を開催しました。

はじめに、県内で実施された体験活動の2事例について、発表していただきました。

事例発表の一つ目は、「あかね通学合宿」実行委員会事務局長 綾 康典 氏より、「あかね通学合宿」の取組について、発表していただきました。綾氏からは、「子どもが主役」「決して子どもをお客様にしない」を合言葉に、子どもはもとより、通学合宿にかかわる大人同士の学びや地域のネットワークづくりを大切に、子どもたちと保護者、そして地域の方々の協力等、地域のつながりを重視しながら活動されたことなどを報告していただきました。



事例発表の二つ目は、「滋賀県山岳連盟」事務局長 藤堂 保 氏より、「みんな集まれ！ジュニア登山教室」の取組について発表していただきました。藤堂氏からは、登山を通じて自然のすばらしさを実感し、山に登るという目標に挑戦することにより、子どもたちの「生きる力」の育成に力を入れながら活動されたことや体験活動を行う際の子どもの安全面や健康面等のサポート体制などを報告していただきました。



その後、こども体験活動アピールタイムを設け、事前にアピールシートを提出いただいている30の団体から1分間で、それぞれの取組内容などを御紹介いただきました。

さらに、滋賀県教育委員会が推進している、子どもたち同士の円滑な仲間づくりを支援する、「しが『心の冒険』プログラム（SMAP）」を体験していただく中で、アイスブレイクと司会・記録の決定や自己紹介を行いました。

最後に、各グループごとに決められたテーマをもとに、各団体の取組や悩み等について、討議と情報交換を行っていただきました。



今回の実践交流会をとおして、参加者のみなさんには、学校・家庭・地域（団体・企業等）が連携、協働を図り、子どもが主体となる体験活動はもとより、子どもの体験活動に関わる方々がネットワークを構築し、地域の教育力向上を図ることの重要性を認識していただきました。

なお、参加者アンケートの結果と感想（一部抜粋）については、別添で掲載しておりますので、御覧ください。